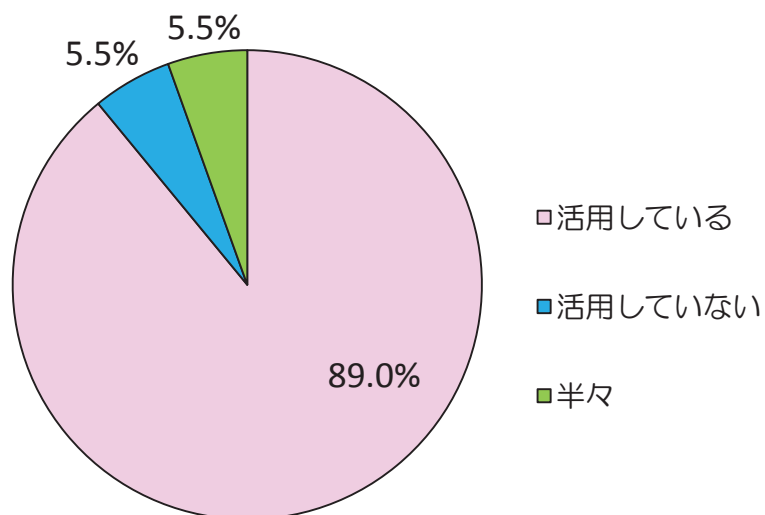


1. アセスメントシート活用の有無

対象：あんしんすこやかセンター（74センター※）  
回答：73センター（回収率98.6%）  
※全センター中、2センターは法人変更のため、対象外



活用している
<ul style="list-style-type: none"><li>・初回面接時のみ</li><li>・初回のみ基本チェックリストと併せて</li><li>・主に初回面接時とその他随時（モニタリング時、各種書類から等）情報があれば、必要に応じて。認定更新時、プラン変更時、状態悪化時等</li><li>・担当変更時、引き継ぎ</li><li>・初回面接時に<b>4つの分野に分けることでアセスメントしやすい。</b></li><li>・モニタリング等の<b>不足確認する為</b>に活用している。</li><li>・聞き取った<b>情報を整理する為</b>に時々活用。</li></ul>
活用していない
<ul style="list-style-type: none"><li>・認定調査票、主治医の意見書を参考にする。</li><li>・項目のみ参考にする。</li><li>・シートの内容にとらわれ、<b>質問攻めになるため</b>、利用していない。</li><li>・初回に<b>聞き取りにくい内容が多い。</b></li><li>・利用しなくても、<b>基本チェックリスト等</b>で本人の状態が把握できる。</li><li>・介護予防支援計画表(1)にアセスメントが盛り込まれている。</li></ul>

## 2. (活用されている方へ) アセスメントシート項目について

### ①使いやすさ

	良い点	改善点
様式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・選択方式(チェック)が多いので使用しやすい。記入欄が少なく良い。</li> <li>・A4表裏のため、コンパクトでファイリングしやすい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・追加記載する欄が少ない。</li> <li>・確認する項目が多い。</li> <li>・A4縦書きの方が見やすい。</li> <li>・視点を箇条書きにしてほしい(見にくい)</li> </ul>
質問項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な項目が網羅。聞き漏れがない。</li> <li>・領域E(その他)5~9項目は、聴取した内容を支援経過記録に落とし込む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・質問項目が多く、1回で埋まらない。</li> <li>・詳細なアセスメントシートに変更してほしい。○をするだけの部分があれば使いやすい。例：屋外：杖・歩行器など。</li> <li>・1日の目標や1年の目標の項目を追加。</li> <li>・『転倒傾向』の( )内の書き方が不明。チェックボックスの方がいい。</li> <li>・本人の思いの項目があっても良い。</li> </ul>
活用方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアプランと連動していて使いやすい。4領域で見ることができる。</li> <li>・本人の状態像が把握しやすい。</li> <li>・順番に聞いていくので聞きづらいことも聞ける。</li> <li>・聞きたい項目が短時間で聞ける。</li> <li>・担当者が交代しても過去の情報がわかり再アセスメントしやすい。</li> <li>・チェックリストと連動して活用できる。</li> <li>・聞き漏れていることや現状が一目でわかる。</li> <li>・変化を確認するツールとして活用している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本チェックリストと重複しており負担。</li> <li>・4領域とリンクしていない。</li> <li>・どの位で新しいシートに移行するか迷う。繰り返し使うものとしては使いにくい。</li> <li>・チェック式なので、簡単にチェックができるが、課題抽出はやりにくい。</li> <li>・重度化している場合、全体像を描ききれない。</li> </ul>

## ②改善点

領域	追加すべき情報	不要な情報
A 運動・移動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・室内外の状況。歩行器、手押し車、ベッド使用状況。ADL 記入欄。</li> </ul>	
B 日常生活 ・家庭生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保険情報：介護保険料段階。介護保険負担割合、身障手帳、等級など</li> <li>・家事内容（掃除機かけ・拭き掃除・洗濯物干しなど）</li> <li>・情報への関心の分野で、インターネット等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電気機器の操作：具体的な品目。電話の利用。</li> <li>・役所や金融機関等の手続き、悪徳商法への注意、情報への関心。</li> <li>・火の始末、身だしなみへの関心。</li> <li>・食べる楽しみ、献立。</li> </ul>
C 社会参加・ 対人関係・ コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外出目的—□買い物、□通院</li> <li>・家族アセスメント（認知症等）,ジェノグラム欄拡大。キーパーソン</li> <li>・本人が関わる地域情報(自治会や民生委員、地域行事等)記入欄の拡大</li> <li>・週間予定等、具体的記入欄。その人らしさがわかる。</li> <li>・趣味楽しみに（ ）で特記欄。</li> <li>・地域の概況や地域の交通網</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外出目的（趣味・楽しみ）</li> <li>・対人関係を3項目に分けない。意向も分けると重複する。</li> </ul>
D 健康管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病気について：主訴、生活への支障、既往歴、病識。病院・主治医、受診頻度、受診方法、緊急時連絡先、搬送病院、蘇生の有無</li> <li>・服薬管理の状況：薬の種類、回数、服薬時間、かかりつけ薬局</li> <li>・排泄状況：排便、紙パンツ、パット、ポータブルトイレの使用等</li> <li>・歯の状態：受診状況、義歯 部分義歯 歯が無い etc.</li> <li>・水分摂取の設問について、水分制限の有無、制限量、1日量</li> <li>・食生活：栄養状況、食形態（刻み食、治療食等）、1回量や内容</li> <li>・アレルギー記載欄（食物、薬）</li> <li>・飲酒有無、喫煙期間・有無</li> <li>・入浴状況：サービス利用の☑</li> <li>・視力、聴力</li> <li>・睡眠状況</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健診の状況や通院が重複</li> <li>・口腔機能の状況、歯の手入れ（回数不要）</li> <li>・排泄</li> <li>・入浴の頻度（単位数が決まっているので記入しにくい）</li> <li>・飲酒、喫煙</li> <li>・適度な休養</li> <li>・生活リズム、物忘れの状況</li> </ul>
E その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣の協力者・見守りの状況。</li> <li>・緊急時の対応方法について本人の意思確認が出来る項目。</li> <li>・経済状況（年金の種類が生活保護程度でよい）。介護に費やせる予算。</li> <li>・住宅改修等の視点で、手すり、段差の有無、トイレが和式か洋式。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・価値観：①聞き方の工夫が必要。 ②独立した領域を設ける。</li> <li>・経済状況：収入額、主な用途は聞きにくい。</li> <li>・虐待の可能性・家族の介護力：確認しにくい。</li> <li>・緊急時のSOS発信：緊急時とは何を示しているのか？</li> <li>・居住環境：室内・屋外の枠は不要。</li> <li>・価値観・本人の主訴や意向・これからの生活についての希望を一つにする。</li> </ul>

<p><b>全体</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 自由記載欄、各項目備考欄等</li> <li>• 一日の過ごし方。時系列。(詳細にわかるもの)</li> <li>• 1日の目標や1年の目標</li> <li>• アセスメントシートの方に身長・体重の記入欄。</li> <li>• インフォーマルサービス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 基本チェックリストや認定調査票と重複している項目。</li> <li>• 全体的な印象：先入観、主観になる</li> <li>• 現在利用しているサービス</li> <li>• 「本人の主訴や意向」と「これからの生活についての希望」は、重複。</li> <li>• 主訴は初期相談時に分かる。</li> <li>• 「生活についての希望」も「今の困りごと」程度で良い。</li> <li>• 本人の主訴や意向～現在利用しているサービスの項目を最初にする。</li> <li>• 経年経過が読み取れるようなツールがあれば、評価しやすい。</li> <li>• A3用紙にして本人とも共有できるようにする。本人に記入してもらう様式。</li> <li>• 高齢者自身ができていることに着目するような工夫。</li> </ul>
------------------	---	--

### ③活用のメリット・デメリット

メリット	デメリット
<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>基本的な情報を押さえられ、聞き忘れることがない。</b></li> <li>• 生活状況、全体像が分かる。</li> <li>• <b>力量・経験に関係なく、必要な情報を漏れ(偏り)なく聞き取れる。</b></li> <li>• 介護サービス事業所や引継ぎをするときに説明しやすい。</li> <li>• 初回時の状況と今の状況を見比べることが出来る。<b>変化がわかる。</b></li> <li>• <b>メモ代わりになる。</b></li> <li>• チェック方式なのでいい。記入にかかる<b>手間が省ける。</b></li> <li>• <b>課題が整理しやすい。</b></li> <li>• 面接で直接聞き取りした内容と<b>認定調査票・意見書を比べることができる。</b></li> <li>• 具体的に<b>本人の考えや習慣などの理解</b>に役立つ。</li> <li>• 家庭環境や本人の<b>意向の確認</b>がしやすい。</li> <li>• <b>1枚ものでわかりやすく管理</b>もしやすい。</li> <li>• できていることやできていないことについて、<b>具体的に話を聞くことができる。</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>時間・手間</b>がかかる。</li> <li>• 尋ねる<b>項目が多すぎる。</b></li> <li>• <b>基本チェックや基本情報と重なる項目</b>がある。</li> <li>• <b>面接の基本的な技術</b>が必要。</li> <li>• <b>具体的な状況が書き込めない。</b>自由記載欄がない。</li> <li>• 情報は古くなる。更新しなくては<b>いけない。</b></li> <li>• 字が小さく<b>見づらい。</b></li> <li>• ツールに記載がない情報は聞かなくなる<b>恐れがある。</b></li> <li>• <b>ワンパターンで、個性</b>が出にくい。</li> <li>• 今までの生活歴については書く<b>所がない。</b>(利用者基本情報には記載欄あり)</li> <li>• <b>縦書き</b>がよい。</li> </ul>

#### ④事業対象者(特定高齢者)への活用を踏まえ、追加すべき項目や情報について

使用について	項目について
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 書類を簡素化した上で、セルフチェックにする。複写をセンター保管。</li> <li>• 特定高齢者の方は元気な方が多いので、詳細を聞くのは難しい。項目が多い。</li> <li>• 初対面で多くの情報を聞き取る必要性はない。必要項目だけ活用すればよい。</li> <li>• アセスメントシートを必須にして、ケアプラン 1 表の左側に代える。</li> <li>• A4 の 1 枚程度に凝縮されたようなシート（チェックリストの拡大版のような）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 生活歴の項目が含まれると、より活用しやすい。</li> <li>• 地域の集いなど参加しているサークル名等の記入欄。</li> <li>• 健康維持（介護予防）のため自ら取り組んでいることについて。</li> <li>• 社会貢献活動を具体的に。興味の有無、活動内容回数、役割、社会参加等。</li> <li>• 基本チェックリストの項目の点数やどの項目にチェックがあるかなどの欄。</li> <li>• 「本人の主訴」を一番上の項目に。</li> <li>• 「これからの生活についての希望」を具体的に。やりたいこと、できないこと。</li> <li>• 家族や近隣、友人などインフォーマルな協力者の把握欄。</li> </ul>

#### 3. 神戸市様式以外のアセスメントツール等 参考様式。

- アセスメントのための情報収集シート(宮城県版)
- 年表などに戦争、万博、オリンピック、震災など書き込み。
- 通所事業所の利用申込書をアセスメントツールの代わり使用。(知りたい情報が一枚に網羅)
- Zarit 介護負担尺度日本語、認知症行動障害尺度

#### 4. その他

- 本人とプラン作成者が一緒に作成するシートの方が（例えばエンディングノートのような感じ）自分自身の人生や現在の生活を振り返ったり、今後の希望や目標を自分自身のものとして考えてもらいやすい。
- 現状・能力が評価でき、詳細状況がわかる項目、課題の有無がわかる項目に分かれていると見やすい。
- セルフケアプラン作成の普及